

日本チェコ友好協会からのお知らせ

2021年1月8日

新年のご挨拶 会長 高橋恒一

明けましておめでとうございます。

新しい年を迎え、会員及びご家族の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

令和2年は世界中がコロナ禍に見舞われ、外国との間はもとより国内においても人の移動、集会、会食などが自由に出来なくなり、当協会の活動も制約されることになりました。チェコ料理教室、コンサート、サクランボ狩りツアー、クリスマス・レセプション等は中止となりました。他方、総会は郵便により開催することができ、また日本チェコ交流100周年記念として計画した阿部先生と栗栖先生のチャペックについての講演会は、オンラインで成功裏に実施することができました。更に5年目となるリバのクリスマスミサ・コンサートについても関係者の皆様の熱意とご尽力により大成功を収めました。チェコ語教室も6月よりオンライン化し、順調に続けられています。

コロナ禍がいつ収束するかを現時点で判断するのは困難ですが、少なくともここ当面はオンライン講演会などのオンライン中心の活動を続けていかざるを得ないものと思われれます。同時に会報を通じての皆様への情報提供につきましても更に充実させて参りたいと考えております。つきましてはオンラインによる活動や会報の内容などに関しご希望やご意見がございましたら是非ご連絡いただきたくお願い申し上げます。

いずれコロナ禍が収束し、また皆様といろいろなイベントでお会いできるのを楽しみにしております。どうぞくれぐれもお大事になさってください。

ホルプ先生講演会 2月6日(土)にオンラインで開催！ 申し込み受付中

本年1月16日に予定していた恒例のホルプ先生講演会はギリギリまで開催を目指しましたが、先生のご来日がかなわないため、2月6日にオンラインで開催することにいたしました。

ホルプ先生講演会

2021年2月6日(土) 18:00より ZOOMシステムにて開催

テーマ:「英国のEU離脱後の欧州情勢と米国新大統領の下での米欧関係」(仮題)

会費: 会員 無料 / 非会員 1000円 (会費振込先 三菱UFJ銀行 渋谷支店 普通 3524843)

お申込み: e-mailでお申し込み下さい。追って当日のURLを送付します。

e-mail 宛先: czfriend@outlook.jp

「ホルプ先生講演会申し込み」とメールタイトルに明記ください。(先着100名で締め切ります。)

おかげさまで大成功 ヤクブ・ヤン・リバのクリスマスミサコンサート

下北沢のカトリック世田谷教会で規模を縮小したコンサートは昼、夜合わせてほぼ定員の120名のご参加をいただきました。プロの演奏家による室内楽形式での演奏会はコーラス部分をソリストがすべてカバーする熱演でした。

教会の音響と雰囲気とぴったりで「毎年聞きたい」というリピーターの皆さんと共に5年目のリバを楽しむことが出来ました。

この熱演を専門家に依頼し録画したDVDをご希望の方に販売いたします。

「チェコのクリスマスミサ 2020」DVD 2000 円(送料別、200 円程度)

また、同じ動画を YOUTUBE の限定公開にて、公開しております。

ご希望の方に無料で配信しておりますが、経費がかかっておりますのでご寄付をお願いできれば助かります。

詳細お問い合わせ、お申し込みはリバ実行委員会メールまで:

ryba.ceskamsevanocni.tokyo@gmail.com



チェコ語オンライン講座 これならできる！入門クラスが好評です！

協会発足以来続いているチェコ語講座、教室での開催は見合わせていましたが6月よりオンラインに切り替え、再開しています。9月下旬より入門クラスを開講しました。アルファベットから始まったところですが、チェコ語は最初が大切。複雑な文法と耳慣れない単語の数々を Aneta 先生が無理なく、効果的にレッスンして下さいます。初めての方も、あきらめてしまった方も、学びなおしのチャンスです！ご多忙な方、遠方の方でも手軽にご参加いただけます。パソコンがあれば簡単に聴講できる、Zoom システムを使用しています。この機会にどうぞお試しください。

(お問い合わせ: 090-3241-7256 担当: 村田 Zoom が初めての方もどうぞお気軽に！)

費用: 全クラス 5 回1万円 (途中参加の場合は1回 2000 円として残額)

毎週水曜日 開催 (祝日に当たるときは休講です。)

入門クラス: 19 時半から 21 時

中級継続クラス: 18 時から 19 時半

次号よりメールでの配信を開始予定です

Ma Vlast 次号より、メールアドレスを登録頂いた会員の皆様には、メール配信にてお届けの予定をしております。コロナ禍のもと協会事務所での会報の印刷・発送業務の軽減と、郵送費用の削減が可能となります。また、メールを通じて会員の皆様へ迅速な情報提供、きめ細かいコミュニケーションを行って参ります。

つきましてはメールアドレスお持ちの方で連絡いただいていない方はアドレス登録をお願い致します。

ご家族の協力を得られる方は、ご家族のアドレスでも結構です。

(最近の各種講演会にメールで申し込み済みの方は不要です。)

メール宛先 czfriend@outlook.jp まで 会員ご氏名 e-mail アドレス をお知らせください

なお、入会時も含めこれ迄メールアドレスをお届け頂いた方には、そのアドレスが現在でも有効か、またメールでの会報配信をご希望されるか否かの確認のメールを差し上げますので、返信のご協力をお願いいたします。

昨年 11 月 26 日、医師でカレル・チャペックの翻訳者である栗栖茜先生が、同年 8 月にその翻訳を出版したばかりのチャペックの戯曲「白い病気」について、オンラインにより講演して下さいました。同講演は、当協会による日本チェコ交流 100 周年記念講演の第 2 弾となるものであり、55 名の皆様にご参加いただきました。演題は「カレル・チャペックは、戯曲『白い病気』で何を語りたかったのでしょうか？」で、同戯曲が書かれた前後のチェコスロヴァキアを中心とする欧州情勢とその中でチャペックが考えていたことについて丁寧にあらずじを追いながら熱く語っていただきました。質疑応答も活発に行われ、最後には先生がお好きなチャペックの短編「足あと」の導入部分の朗読というおまけまで付けていただきました。ご多忙にもかかわらず素晴らしいご講演をしてくださりました栗栖先生に改めて深謝申し上げ、概要を報告いたします。

戯曲「白い病気」が発表されたのは、1937 年である。前年の 36 年にはナチス・ドイツがチェコスロヴァキアに対し武力行使の威嚇の下でズデーテン地方の併合を要求した。同要求は、38 年 9 月のミュンヘン協定により認められ、39 年 12 月には第二次世界大戦が勃発した。チャペックは、かかる緊迫した国際情勢の中で、名指しを避けつつも独裁国家にパンデミックのような強烈な衝撃が加わった時、その社会にどのような変動がもたされるかを、彼流の強烈な味付けをした上で、読者と観客に問いかけたのではないだろうか。欧州の歴史においては、ペスト、天然痘、コレラ等のパンデミックが何度も発生したが、中でも 14 世紀に地中海から欧州に広まったペストは、人口の半分近くが犠牲になり、患者の皮膚が内出血で黒ずむため「黒い病気」として恐れられた。チャペックは、それをちょっともじってパロディ化し、「白い病気」を題名にしたものと思われる。

50 歳以上の高齢者しか罹らない死に至る感染症の白い病気が蔓延し始めたところからドラマは始まる。町医者のがレーンが大病院院長のシゲリウスを訪問し、自らが発明した特効薬の「治験」を申し入れ、シゲリウスはこれを受け入れる。薬は明らかに効果があったが、がレーンはその薬の化学式を誰にも明かさずとしない。薬の効き目を伝え聞いた元帥が大病院を視察に訪れる。その取材に来ていた新聞記者たちを前にがレーンは、「支配者たちが戦争を止めなければ彼らには特効薬を使わない。使うのは貧しい人達だけにすると宣言する。こうして白い病気にかかった武器会社クリューク・コンツェルンの会長、元帥及びクリューク・コンツェルンの部長に出世した「お父さん」の連れ合いの「お母さん」は皆特効薬の投与を拒否される。50 歳以上の人々が次々と死んでいく中で、社会は大混乱に陥り、同じアパートに住む白い病気にかかったおばあさんに食事を届けようとする「お母さん」をにべもなく押しとどめる「お父さん」の行為に見られる社会的連帯の崩壊が起こり、「人はいつかは若い者に席を譲らなければならないのよ」という「お父さん」の娘の主張が象徴する世代間の利害対立が顕在化していく。1937 年当時、世代間の利害対立は、現在ほど先鋭化していなかったと考えられるが、チャペックは、鋭くこの問題にも迫っており、流石である。

たった一人で自分が発明した薬を武器に戦争を止めようとしたがレーンの試みは、誰からも支持されず、上手くいかない。結局、彼は官憲ではなく、戦争を熱狂的に支持する群衆により踏み殺されてしまう。がレーンには孤独なテロリストの香りがする。全体主義・独裁主義の下では、大衆は権力とともに権力に逆らうもの、抗う者を抹殺するものへと容易に変わってしまう。これが好戦的な風潮が強まる中で左右両派から批判されていたヒューマニズムと民主主義の信奉者チャペックの警告、メッセージだったのではないだろうか。

チャペックはしばしばペシミストと言われた。それが理由ではないと思うが、いくつかの作品で絶望的な結末に若干の希望を持たせている。例えば「ロボット」ではアルキストを生かし、ロボット同士に恋を芽生えさせ、「虫の生活より」ではホ

ームレスが生き返るヴァージョンも作り、「サンショウウオ戦争」では山頂近くまで追い詰められた人類が内輪もめでサンショウウオが全滅した後、少しずつ山から降りてくるとしている。これに対し「白い病気」にはこうした希望が書かれていない。チャペックは優れた科学者のように論理的に思考を深め、社会や人間を見ており、そこから誰よりも未来がはっきりと見えていたのではないか。1938年に亡くなったチャペックは、世界が絶望的状况に向かうことを予言したのかもしれない。しかし彼はそこに遊び、冗談、表現の美しさを練りこんで一層素晴らしい「チャペック・ワールド」に仕立て挙げているような気がする。

チャペックは SF 作家という見方があるが、自分は彼の作品は科学的空想に基づいたフィクションである SF 小説の枠に収めるには、鋭いとげが多すぎると考える。私には時代がチャペックを追いかけようやくその後ろ姿が見えてきたところであり、チャペックの作品は、下手な哲学書よりもはるかに示唆に富んでいるように思える。

チャペック<白い病気>講演会における質疑応答要旨

Q: チャペックが「白い病気」で語りたかったのは、端的に言えばパンデミックのような強烈な衝撃は、愛国的な群衆と独裁的な指導者を生み、国家を戦争へと駆り立てるということか？

A: そうだと思う。例えば日本の具体的な例としては、パンデミックではないが、1923年の関東大震災が日本の軍国主義化のトリガーとなったことが挙げられる。

Q: チャペックの作品で翻訳しにくい単語や文学的表現があれば教えて欲しい。

A: 難しい質問。一般的に言ってチャペックは、言葉遣いに厳密で、学術用語や専門用語もよく調べ正確に使っているの、訳もそうなるよう努めている。

Q: 「白い病気」は 1930 年代末に映画化されたが、原作と異なり、元帥が戦争停止命令を出すシーンで終わっていた。この映画の結末は、甘すぎると思うがどうか？

A: その映画は観ていないが、同感。ついでに言えば「ロボット」の第 3 幕は無かった方がよかったような気がする。

Q: 「白い病気」は出版当時、社会でどのように受け止められたのか？

A: 出版後、上演されかなり好評だったが、チェコスロヴァキアはすぐにナチスドイツに併合されてしまった。

Q: 自分は戦争を止めない限り指導者と金持ちには薬を投与しないというガレーンの行為に共感するが、医師である先生のご意見は？

A: 建前としては、すべての人を診るべきであろう。しかしながらドイツでもアメリカでも金のある人の方が良い医療を受けられるというのが現実である。

Q: パンデミックや大災害の時に全体主義的な傾向が強まるのは、民衆が分かり易く決断力があるように見える指導者を求めてしまうからではないか？

A: そう思う。民主主義の主役は民衆であるが、民衆は往々にして指導者の美味しい言葉に幻惑され従ってしまうこわい存在でもある。1937年のチャペックはこのことを書かざるを得なかった。

Q: チャン氏病は実在する病気か？

A: 完全なフィクションである。

(高橋恒一)

チェコ料理 第3回 ディルのスープ「クライダ」

チェコ料理研究家 村田祐生子

今月はスープです。クライダとの出会いは90年代の初め、ヴルタヴァ沿いでプラハ城の眺めの良かったレストラン「パルナス」で。「ディルのスープはいかがですか」と勧められ、ディルの香り、バター風味、ビネガーの酸味と何とも言えない甘みが混然一体となったチェコ料理の味わい深さに初めて魅了された一品です。南ボヘミアにルーツを持つ、家庭料理です。小麦粉とバターを炒めたいわゆるブルマニエ(チェコ語では jíška イーシュカといいます。)をブイヨンで伸ばして作るチェコのスープの代表選手です。具として入れるキノコの種類や、卵の煮方など家庭より様々なレシピがあります。大統領府の料理人も務めた大使館のシェフ、カルピーシェックさんにご自分の家の味をおしえていただいたのでご紹介します。キノコのスープのポイントは生のキノコの扱いにあります。キノコは別鍋で塩をせず油だけで炒めて加えてください。スーパーのキノコがヨーロッパのキノコの味に早変わりします。もう一つの主役は卵です。ポーチドエッグを浮かべるとチェコの味にぐっと近づきます。



山中湖の菜園でそだてたディル

材料(5人前)

強力粉 大さじ 3 バター 大さじ3

水 またはコンソメ 1リットル小麦粉 50g

ジャガイモ 中サイズ 5個 2-3センチの角切りにする

生キノコの薄切り 両手いっぱい(エリンギ、生シイタケなど)

卵 4個

生クリーム(乳脂肪分 33パーセントのもの)200ml

ビネガー 大さじ2

ディル 小さいパック売りのもの2

ローリエ、クミン 砂糖・塩・胡椒



つくり方

1. 鍋にバターを入れ溶かし、なべ底に広げる。小麦粉を加えよく混ぜながら、香りが立ち、薄く色づくまで炒める。そこに水をいれ、泡立て器でよく混ぜる。
2. 1.にジャガイモを加え、ローリエ、クミンを加える。キノコは別の鍋で、サラダ油でいためて(塩はしないこと!)加えるじゃがいもが柔らかくなるまで10-15分くらい煮る。
3. ローリエを鍋から取り出す。生クリームと塩、胡椒をしてディルを加える。砂糖とビネガーで味を調える。この砂糖とビネガーの味がポイントです。少しずつ加えながら好みの味を探ってください。カルピーシェックさんはこの分量でビネガーと砂糖を大さじ2づつ入れるそうですが、本当に「お好み次第」とのことです。
4. トッピングとなる卵はゆで卵でもOKですが、チェコ料理の正統派はポーチドエッグを浮かべます。

ポーチドエッグの作り方

- ・深めの小鍋にお湯を沸かし、酢を50ccほど入れます。
- ・卵をひとつカップなどに割り入れます。
- ・木べらでお湯を一方向にかき混ぜ、小鍋の中に渦を作り、中心に卵をそっと入れます。
- ・弱火で3分ほど煮て、静かにとりだし、スープに浮かべます